

浅茅野 CS 通信 **きずな**

学校と保護者と地域でつくるお便り 夏号 浅茅野小コミュニティスクール
浅茅野小 CS 事務局 TEL5-7312 FAX5-7317

令和3年9月10日(金)

森に受け継がれる志

猿払村立浅茅野小学校長 荒谷 卓朗

1 CS浅茅野クロカン・コース造成チーム



9/4(土)、地域の方々にご協力いただき、クロスカントリースキー・コース造成作業を行いました。

これまで全長2.5kmのロングコースを使ってきました。このコースに出るまでには、スキー技術を向上させる練習が欠かせません。低学年はグラウンドの周回コースで練習してレベルアップを図り、シーズン後半には森コースへと繰り出します。

冬、スノーモービルでのコース整備はかなりの労力を要します。そこで短い距離の森コースを模索しようと、冬の間スノーシューなどで探検しました。3年ほど前、「王子の森」の伐採作業で新たな

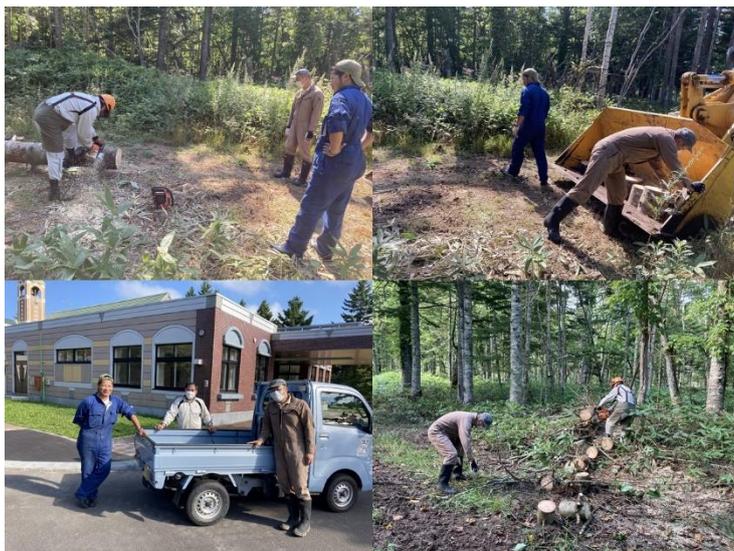
林道ができたことから、そこを利用するルートを考案。そこで、今回、その途中にある倒木を撤去するチームを結成。メンバーはTさん(CS会長)、Wさん(保護者)、Yさん(地域)、荒谷の4名。プロフェッショナルな技が光り、段取りよく作業が進みました。(事前に浅茅野自治会のKさんにも現地調査に協力いただきました。)

まず、グラウンドから南側、遠くにサイロが見える林道からスタート。重機で倒木をワイヤーで引っ張り移動、チェーンソーで枝払い・玉切りにしてバケットに積み込み。薪となる木はピザ窯の横へ運搬。その後、通路をならし整備しました。

次に、体育館の裏手から、泥濘や轍が多い東側の林道に徒歩で入り、倒木を撤去。ここは、雪が積もれば南側の林道につながり、起伏とカーブのある散策ルートになります。

冬、牧草地は広大な雪原となります。太陽の光でキラキラと輝くコースをスキーで歩くと、とても大らかな気持ちになります。滑走する時は体力を要しますが、そこで培われる逞しい精神、地道に努力する経験など、教育的な価値を考えると確かな手応えが

あります。こうした教育が将来、何に生きるかは未知数です。子供がその意味を見いだすのはずっと先のことと思います。作業後の談義でも数多くの学びをいただきました。今後の教育活動の充実に向けて、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



2 クロカンコースができるまで

平成26年のコース造成は次のように記されています。～校舎周辺と牧草地を「接続」するためには、王子の森を200mほど通過することになる。その際、笹刈りと灌木の伐採（直径数センチから20cm程度の広葉樹）という作業が必要となる。～この「接続」する箇所は起伏があり、冬はスノーモービルで埋まらないように走る技術を要する難所です。（図の矢印部分）つまり、笹藪と森を切り拓いてコースをつくったということです。その労力は並大抵ではありません。そして、コースができた後も、毎年、保護者の方がトラクターに草刈りの機械をつけてコース整備を続けてきたのです。本当に「有り難い」ことです。

今回整備した短いコースの南側と東側の林道をつなぐには50mほどの笹刈りが必要です。従来のコースを王子の森が管理している砂利の道路を利用するだけに縮小しても、接続部分の笹刈りは必須です。今後、最小限の労力で、多様な体験ができるコースレイアウトを考えていかななくてはなりません。そして、地域の人々の協力なくして、この教育活動は実現しないということを知っていただきたいのです。

さらに、造成記録には「週末や休日などで村や周辺自治体の愛好者にも開放できれば、今までになかった冬のスポーツシーンの開拓ともなる」とあります。これは、今につながっています。昨年、冬休み中と土日の天気の良い日にコースを開放。卒業生も含め子どもたちが元気にグラウンド・森コースでクロカンを楽しみ、その速さに驚き！保護者の方は「小学校のとき鍛えられましたからね。」と。また、「昔、神社の裏側がスキー場でした。みんなでスキーを楽しみましたよ。」等々。さて、今年の冬はどんなドラマが生まれるのでしょうか。



卒業生の声 「浅茅野の森」の思い出

3 動物飼育・願いの碑

造成作業の後、思い出を語られる2人の卒業生。朝から森の中の畑に水やり、放課後は動物の餌やり、収穫した野菜は浅茅野のまちにリヤカーで配りに行ったこと、お盆のキャンプでは校門近くにあった「願いの碑」の前で鎮魂式、バスには乗らず家から歩いて通ったこと、勉強する時間は畑や動物のお世話の半分くらいだったとか…。

そして、進学、社会に出て働く意義・生き方を考え様々な実践をしたこと、子供に伝えていきたいことなど、意義深いお話しをお聴きすることができ、心が温かくなりました。

保護者・地域の皆様のご意見を伺いながら子供・大人も一緒に学びを深められる環境づくりを進めたいと考えています。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

